

平成22年度

事務事業評価表(平成21年度の実績評価)

記入年月日
平成 22 年 4 月 13 日

Table with columns for 事務事業名, 区分, 事務事業No., 課内No., 政策体系, 行政評価施策名, 政策名, 施策名, 基本事業名, 財務会計上の位置付け, 予算科目, 法令根拠, and checkboxes for various project types like 単年度のみ, 単年度繰返し, 期間限定複数年度.

[Do] 1. 事務事業の現状把握 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

事務事業の概要(事務事業の内容、担当者が行う業務の内容、手順、事業費の内訳等。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

安全安心な給食を提供し、より良い原材料を安価で調達することを目的に北・南給食センター共同で購入するための献立・物資検討会、献立作成会議を月1回実施。
(業務の内容)-献立・物資検討会資料作成。原材料代支払。
(事業費の内訳)-給食用原材料費

Table with 4 columns: (1) 事務事業の目的, (2) 指標値の推移, (3) 投入量(事業費)の推移, (4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

Table for (2) 指標値の推移 with columns for 区分, 単位, 18年度(実績), 19年度(実績), 20年度(実績), 21年度(実績), 22年度(計画), 23年度(目標). Rows include ⑤活動指標, ⑥対象指標, ⑦成果指標, ⑧上位成果指標.

Table for (3) 投入量(事業費)の推移 with columns for 18年度, 19年度, 20年度, 21年度, 22年度, 23年度, 期間限定総投入量. Rows include 事業費内訳 (国庫支出金, 県支出金, 地方債, その他, 一般財源, 事業費計(A)), 人件費 (正規職員従事人数, 延べ業務時間, 人件費計(B)), トータルコスト(A)+(B).

(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
旧真壁町・大和村で設置した「筑ろく地方学校給食組合立学校給食センター」が、平成17年10月1日町村合併により、桜川市南学校給食センターになった。近年、食の安全性に対する様々な問題が発生し、多方面に渡って食に対する関心が高まっている。また、食生活の乱れに起因する生活習慣病の増加が新たな社会問題となっている。

(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
美味しい食生活を実践することは、桜川市の未来を担う児童生徒の健全な育成の大切な手段となるので、これからも事業を継続してほしい。

事務事業名	南学校給食センター調理用原材料購入事業	事務事業No.	31133003	所属課	南給食センター
-------	---------------------	---------	----------	-----	---------

【See】 2. 評価の部 * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

評価項目		
目的 妥当性	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) 桜川市の教育政策体系・学校教育の充実の中で食育を通じ子どもの望ましい食習慣の形成や食に関する理解を促進させると明記されているので結びついている。	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) 桜川市の次代を担う子どもたちの「生きる力」を養うための事業である。	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である
	③ 対象・意図の妥当性 (対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?) 桜川市の次代を担う子どもたちの「生きる力」を養うための事業である。	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である
有効性	④ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) 現状を最善の状況と考えるのではなく、常に業務の見直しを行う姿勢で臨む。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) 学校給食が児童生徒の健全育成に大きく寄与している現状を考えると、その中心的な原材料購入事務の廃止は到底考えられない。	<input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む)) 他に手段がある <input checked="" type="checkbox"/> ⇒ 具体的な手段、事務事業名 他に手段がない <input type="checkbox"/> 北学校給食センターとの統合を検討する。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる
効率性	⑦ 事業費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)) 北学校給食センターとの統合を検討することにより削減余地がある。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 (やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?) 北学校給食センターとの統合を検討することにより削減余地がある。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない
公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) 管内各小中学校幼稚園に安全で安心な給食を提供するための事業であり、受益機会・費用負担とも適正である。	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 南学校給食センターの適正かつ円滑な運営を図るための業務として必要不可欠な事務である。今後は北学校給食センターとの統合も視野に入れた形で事業が継続されると思われる。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上	○																				
	維持			×																		
	低下		×	×																		
(3)-1 改革改善策 北学校給食センターとの統合は、検討に入る全段階の基礎資料を準備する必要がある。																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 未
(3) 2次評価における改革改善案	(4) 2次評価における指摘事項